

単元名	サッカー型ゲーム	配当時間	8時間
単元の目標	(1) ルールを守り、互いに協力してゲームを行い、勝敗を素直に認めようとする。 (2) チームのめあてをもち、簡単なゲームを工夫することができる。 (3) コート内で攻守入り交じってボールを主に足で扱い、簡単な技能を身に付けて、ゲームが楽しくできる。		
単元を構想する上での留意点	サッカー型ゲームは、主に足でボールを扱い、攻守入り交じって行うゲームである。中学年で攻守入り交じってゲームを行うとなると、ドリブルやパス、ボールをストップする技術なども必要となってくるが、思い切りシュートをするを楽しむにしている児童の欲求を保障するために、よりやさしいサッカー型ゲームの学習を組み立てることが大切である。そこで本単元では、ゲームを中心として簡単なボール扱いや攻め方、守り方を身に付けみんながシュートすること（主に足で）を楽しめるようにする。サッカーの正式なルールに合わせて学習をするのではなく、実態に合ったルールでゲームを構築し、学習する楽しさ、喜びを味わわせる。		
単元展開例			
準 備	サッカーボール、学習カード、カラーコーン、ハードル、対戦表 など		
学 習 活 動		留 意 事 項 な ど	
1 サッカー型ゲームのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。 ○学習のねらいや進め方を知る。 チームにあった作戦を選び、ルールを工夫してゲームを楽しもう ○学習カードの使い方を知る。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○チームを編成する。 ○試しのゲームをする。		・攻守が入り交じり、主に足を使って行うゲームの特性を理解させる。 ・通常のサッカーのルールや場にとらわれず、児童の実態に合ったルールや場で行う。 ・1チーム4～7人、男女混合で編成する。 ・ <u>ゲームの例</u> 2ボールサッカー 4ゴールサッカー ラッキーゾーンサッカー ノーラインサッカー グリッドサッカー など	
2～4 簡単なルールで、ゲームを楽しむ。（ねらい1） <u>○サッカー型ゲームに関連した体ほぐしの運動</u> をする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 ・めあて ・作戦 ・ルール ・マナー など		・毎時間必ず行うようにする。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる。 ・児童の実態とゲームのルールや場があっているかを観察し、確認する。 ・めあてを立てられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 ・練習の成果を確認させる。	

5～7 チームに合った作戦を選び，ルールを工夫してゲームを楽しむ。（ねらい2） ○体ほぐしの運動をする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 ・ルール ・マナー ・対戦相手 ○対戦相手と，ルールについて話し合う。 ○チームのめあてや作戦を話し合う。 ○第1ゲームをする。 ○反省し，練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し，まとめをする。 ・めあて ・作戦，練習 ・ルール など 8 サッカー大会をする。 ○リーグ戦やトーナメント戦で，サッカー大会をする。 ○単元のまとめをする。	・同じチームと2ゲーム行うことを知らせる。 ・ねらい1の学習をもとに，相手チームとの話し合いでルールや場の工夫がうまくいっているか確認する。 ・工夫したルールの例 - だれでもラッキーゾーンは入れるようにする - ボールを柔らかいスポンジボールにする など ・めあてを立てられないチームには，話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から，チームのめあてにそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 評 チームにあっためあてをもって練習する活動を通して，「思考・判断」を評価する。 ・第1ゲームと同じチームと対戦させる。 ・練習の成果を確認させる。 ・試合方法は，学級の実態に応じて決める。 評 サッカー大会を通して，「技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや学習カードによる自己評価などをさせる。
---	--